

# 令和3年度 第3回 楽寿園運営委員会 議事要旨

- 1 日 時 令和4年3月25日（金）午後1時30分～  
2 場 所 郷土資料館 1階 多目的室  
3 出席者 出席：委員15名 アドバイザー1名 欠席3名  
4 議事

## （1）報告

- ①傍聴者1名
- ②委員1名交代

## （2）議事

### ①令和3年度事業報告

#### ○入園状況について

- ・2月末現在、206,739人 前年比93.4%

菊まつり期間中は、令和元年度並み。12月も直近3ヶ年では最高数値だったが、1月27日から3月21日までの「まん延防止等重点措置」適用より、1月から2月にかけての入園者数は伸び悩んだ。

新規イベント 7月18日 三島スイーツ祭り 2,161人

12月12日 ハイカロリーフェス 1,855人

平成30年度は入園者数が目標値300,000人を達成したが、以後新型コロナの影響で目標値を下まわっている。

直近の状況（3月24日） 入園者数 15,749人（3月のみ）

入園料 3,851,050円（令和3年度合計）

外部団体の主催行事 38事業

楽寿園主催行事 21事業

中止となった行事 47事業となり、中止の事業が多かったことが、入園者の減少に関与していると考ええる。

#### ○修繕等施設管理について

- ・キュービクルについて

園内2基のキュービクルについて令和2年度及び3年度の2年間で修繕対応した。内容は変圧器の修繕。

- ・アスレチック遊具の増設について

前回の委員会でお話ししたものでネット登りを増設した。

これは寄附により取り扱った。

- ・楽寿の森管理計画による整備

いこいの松の剪定及び薬剤散布。 ナラ枯れ対策 枯損木50以上対応  
万葉の森ラベルの増設

#### ○ガーデンツーリズムについて

- ・菊まつり中の11月23日に楽寿園内でPRイベント開催

○ベネットワラビーの子供の誕生

11月に生まれ、現在4頭

○レッサーパンダについて

今月中に広島動物園から移送予定であったが、4月以降の予定になった。

## ②令和4年度事業予定について

ハード事業

・キュービクルについては2年間かけて変圧器の修繕を行ったが、設置抵抗値の改修修繕が必要となった。メリーゴーランド横を予定。

・楽寿の森管理計画による整備

引き続き、いこいの松の整備、ナラ枯れ対策を実施

・街の森整備

楽寿園70周年に併せて「緒明記念の森」に名称変更の上整備を進める。

境界近くに目隠しの塀を設置し、ベンチを整備する予定

ソフト事業

・外部団体主催行事が56、楽寿園主催行事が32予定されている。

予定通り実施されれば、相当の入園者の数が見込まれる。

・開園70周年記念イベント

7月10日の日曜日及び菊まつり期間中に70周年イベントを企画するが、年間通して70周年をお祝いする。

・楽寿園応援隊について

現在43人の会員数。毎月第3水曜日を活動日にし、園内掃除、花植えそして菊まつり期間中のガイドなどのお手伝いをしてもらっている。

・感染症対策

園内の各所に消毒液の設置、マスク着用の上来園、入口にてサーモカメラの設置など。

<委員>来年度の菊まつりのテーマは？

<事務局>まだ決まっていない。決まり次第、報告させていただく。

<委員>キュービクルとは何かについて説明

## ③開園70周年記念事業について

各委員からの提案

- ・園内のジオツアー
- ・梅御殿東側庭の回遊通路の設置
- ・小松宮ゆかりの方の講話
- ・桜御殿の公開
- ・花壇のゾーンの増
- ・フードフェスタの開催
- ・三島伝統技能の紹介
- ・くじ引きプレゼントコーナー
- ・子供を中心にしたプレゼント
- ・ジオと歴史を掘り下げた内容の展示
- ・開園当初の写真展示
- ・丸太材のベンチの設置 など

<各委員から>

・園内のジオツアー

静岡県地学会として、毎年（ここ10年程）梅雨明け頃、楽寿園で2～3回企画している。

令和4年度は「緒明記念の森」を中心に実施したい。

できれば7月26日及び30日に30人～40人程度の参加者で行いたい。

菊まつり期間中にも実施してみたい。

・梅御殿東側庭の回遊通路の設置

梅御殿の東側に、現在解放されていない庭がある。

楽寿園側から入り、梅御殿の庭を抜けるコース。

・神戸に相楽園という、楽寿園とは対照的な庭園がある。

相楽園はとてもきれいな日本庭園だが、自然を生かしている楽寿園の方がよい。

季節ごと、見ごたえのあるゾーンに分ける。

・三島市の伝統技能を公開するイベントがあっても面白いのでは。

かなり眠っている文化があり、子供たちにみせて体験させる。

・動物園は、集客力がある。ちょっとしたショーなどでも面白い。

周年記念で動物を譲り受けるなど何かしら新たなことを始める。

・ジオの説明の際に併せて、楽寿園内の巨木を説明する。

丸太の椅子を作って寄贈。

・ホームページを上手に活用する。

<事務局>各委員からのご意見を踏まえ、検討していきたい。

<委員>多くの意見があるが、複合連動したものでもいい。

7月10日や、菊まつり時にこだわらず、年間通して考えてもよいのではないか。

その他意見

・動物の飼育の舞台裏ツアー（人数限定）や「4月19日」を飼育の日としてなど。

・学生等が考えると、アイデアが出るのは「マルシェ」位だと思う。

④お休み処（桜・紅葉）の売店業者について

来月プロポーザルを行い、プレゼンテーション等で選定していく。

7月1日には開店ができるよう進めていきたい。

<委員> 新たな業者が決まるまでは、閉め切ってしまうのか？

<事務局> お休み処は休憩スペースとなっているため、普段から休憩所として開放する。

<委員> 契約期間3年という期間は長すぎないか？1年や半年にはならないのか？

<事務局> 初期投資や準備段階を含め、考えられた期間。

<委員> 3年という期間はもっと変えられないのか？

<事務局> 資格審査委員会及び選定委員会で決められている。

⑤第69回菊まつりアンケートに実施結果について

菊まつり期間中、市民300人対象に実施した。

<委員> 楽寿園の管理が「三島市」だが、赤字1億2千万と聞いたが、こんないい施設なのに来園者が少なく、経営が難しいのは仕方のないことなのか。

<事務局> コロナ禍の中宣伝が難しい。あまり多くの人を呼ぶことは積極的にできない。

<委員> 市職員が、観光誘客の宣伝(営業)活動が苦手。客のターゲットが明確ではない。

市民なのか、バスで遠方からくる観光客なのか。もっとやり方があるのではないか。

<事務局> 実際の入園者数の半分が無料入園ということもあり仕方がないところはあるが、集客数を増やすことはこれからも課題であると考えている。

<委員> 運営委員会でも、次回は楽寿園のPRについて時間をとりたい。

⑥三島駅南口東街区再開発事業について（三島駅周辺整備推進課説明）

<委員> 事業主体は三島市？

<担当課> 事業主体は組合。三島市は地権者の一人、補助金等を交付する側の立場でもある。

<委員> 市が水質などの調査は、市が主体となって行えるのか？

<担当課> 水質調査結果などを検討委員会で確認してもらいながら、市も一緒になってやっていく。

<委員> 開発と保全を両立させてもらわなければならない、小浜池をはじめ、湧水を毀損しないことを言いたい。

⑦その他（各委員から）

<委員>万葉の森の現況ですが、フォレストクラブとして万葉の森の手入れをはじめて2年ほど経つが、弱っていた樹木が元気になってきた。  
月に1～2回の作業を続けている。

<委員>中郷用水が今後、温水池経由して松毛川まで整備をすることとなっている。

<委員>今年70周年を向けるにあたり、いつ、どんなことを行うのか。情報共有をしたい。

<事務局>70周年の事業については、関係団体と調整しながら具体的に決まり次第、随時状況をお伝えしていく。

<委員>70周年事業をお手伝いしたいと思うが。

<事務局>「こんなことができる」といったことがありましたら、ご連絡いただきたい。  
ご協力をお願いすることもあるかもしれません。

<委員>運営委員会は年3回になっているが、臨時で開催されることもあるかもしれませんが、ご協力よろしくお願ひします。

<事務局>閉会を前に令和4年4月1日付けの人事異動報告